



# 牛深東中だより

## 自信を持って一步前進

令和5年8月30日  
第5号  
文責 校長 河内 秀幸

## 2学期のキーワード「相手意識を持つ」ということ

8月29日（火）、2学期始業式を行いました。式では、各学年代表と生徒会代表の計4名が、夏休みの反省と2学期の抱負について、自分の思いを発表しました。どの代表生徒も、夏休みの生活をしっかり振り返るとともに、2学期の抱負を力強く述べており、大変感心しました。他の生徒の皆さんも、2学期の目標を立て、その実現に向けて実行してくれるものと期待をしています。



以下、校長式辞の内容（一部抜粋）を紹介します。

2学期始業式にあたり、一つお願いをしたいと思います。

それは「**相手意識を持つ**」ということです。生きていく上で、自分の思いを伝えることは大切ですが、そこには必ず「相手」がいます。「**相手意識を持つ**」こと、2学期は、このことを意識してほしいと思います。

少し具体的にお話しします。授業の中で、ペアや班で話し合ったり全体で発表したりする場面があると思います。皆さんはこれまで、自分の考えを説明するけれども、自分だけ分かっていて、他の人に通じていなかった、そういう場面はありませんでしたか？自分で考えたことを、相手に分かってもらうためには、どういう伝え方をしたらよいだろう、このことが「**相手意識を持つ**」ということです。そこには、声の大きさや話す速度、言葉を短くする、などの話し方の工夫もあるでしょう。また、ただ話すだけでなく、ノートや黒板の図を指し示したり、根拠となる資料を使ったり、などの工夫もあるでしょう。2学期は今まで以上に、「**相手意識を持って、相手にとって分かりやすい説明をする**」このことを心がけてほしいと思います。

そして「**相手意識を持つ**」ことのもっと大きな意味は、授業中だけではなく、毎日の生活の中で、「**相手のことを考える**」ということだと思います。「〇〇さん、今つらそうだな、どんな言葉をかけてあげようかな」「この言葉を聞いたら相手はどんな気持ちになるだろう」など、「**相手の立場や気持ちを想像する**」ことは、相手のことを考える、すなわち「**相手意識を持って人と接する**」ことになると思うのです。



以上、「**相手意識を持つ**」ことについて話しました。私はこれまでも、3つの力「実行する力」「学び続ける力」「認め合う力」について皆さんに伝えてきましたが、これらの力は、「**相手意識を持つ**」ことで、さらに高まっていくのではないかと考えています。

皆さんにとって、充実した2学期、そして夢実現につながる2学期になることを願いまして、始業式のあいさつといたします。

## ◆部活動、頑張りました！

- 県中体連陸上 砲丸投 優勝 山下 京桃 ※九州大会は中止
- 県吹奏楽コンクール 銀賞 吹奏楽部
- OU16 陸上県予選 円盤投 優勝 山下 京桃 **全国大会へ！**
- 上天草市錬成大会 2位 女子バレーボール部

## ○9月の主な行事

- 10日 テスト前部活動休止～14日
- 13日 前期期末テスト～15日
- 21日 不審者対応避難訓練
- 26日 委員会活動